

# 大麦特報 (第4号)

平成29年3月  
富山市農業協同組合  
富山農林振興センター

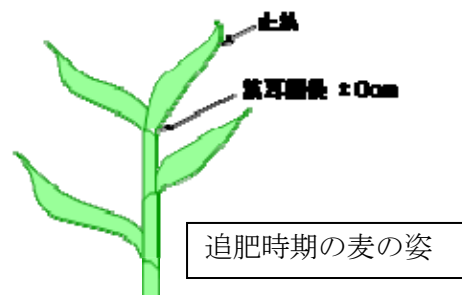
今年の大麦の止葉展開期は今後平年並みの気温で推移した場合、4月4日～7日頃(出穂期は4月15～18日頃)と予測され、平年に比べ5日程度早くなる見込みです。赤かび病の防除は、ほ場ごとに生育状況を確認し、適期作業に努めましょう。

## 止葉展開期追肥

・大麦専用基肥一発肥料を施肥したほ場では、原則として止葉展開期の追肥は施用しない

### 【分施肥系ほ場の追肥の目安】

葉色	m <sup>2</sup> 当たり茎数	10a当たり施用量	追肥時期
5未満	670本未満	硫安 5～10kg	4月4日 ～7日
	670本以上	硫安 5kg以内	
5以上		追肥しない	



## 赤かび病の防除

重点防除対象の赤かび病は、特に1回目の防除が効果に大きく影響します。播種・出穂時期ごとに開花状況を確認し、適期防除に努めましょう。

また、赤かび粒の混入限度が0.0%と厳しく定められているので、2回防除(穂揃期とその7日後)を徹底してください。

### 【防除体系及び農薬名】

粉剤体系	1回目:穂揃期(4月18日～21日頃)	+	2回目:1回目散布の7日後
	トップジンM粉剤 DL (4kg/10a)		ワークアップ粉剤 DL (3kg/10a)

液剤体系	1回目:穂揃期(4月18日～21日頃)	+	2回目:1回目散布の7日後
	トップジンM水和剤 (1500倍 150 <sup>㍓</sup> ℓ/10a)		シルバキュアフロアブル (2000倍 150 <sup>㍓</sup> ℓ/10a)

※可能な限り防除効果の高い、液剤体系とする。

※無人ヘリコプター散布の希釈倍率は異なるので注意する。

※周辺作物や住宅地への飛散防止を図るため、風の弱い時間帯に散布する。

## 排水対策

排水不良ほ場では、根張りが悪く、施肥効果が低くなるため、排水溝の手直し等により排水を促しましょう。

※溝が滞水して緑(藻・苔)のほ場は早急に排水しましょう！

春の農作業安全運動 (4月1日～5月31日)